



平成28年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 5月号

みやがや

＜学校教育目標＞

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切に、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

安全教育

学校長 奈良輪 孝雄

4月14日以降の熊本地方の地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

私が子どもの頃、日本は「水と安全はただである」と言われていました。しかし現在は、何もしないで安全が確保されるということはありません。子どもたちの安全を確保するためには、不断の努力が必要となります。事件・事故災害は、日常生活の様々な場面で起きています。通学路を含めた学校をはじめ、家庭や社会生活における事故、誘拐や傷害などの犯罪による被害、交通事故、また地震などの自然災害など、多くの危険が子どもたちを取り巻いています。

文部科学省は、学校安全のねらいを「学校安全は、児童生徒等が、自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒等の安全を確保するための環境を整えること」と示しています。また、平成21年度から施行された「学校保健安全法」では、家庭、地域、関係機関と連携して学校安全の充実を求めています。

宮谷小学校では、校内の協力体制はもちろんですが、保護者や地域の皆様との連携を密にしています。全児童の安全を守るためには、学校の力だけでは不可能です。登下校時の見守り隊の皆様には、風雨時でも決まった時刻に、決まった場所に立ち続けてくださっています。交通事故防止だけではなく、見守り隊の方は、「今日は、〇〇さんは欠席だね。」「〇〇さんは、元気がないね。」など、実に人を大切にしてくださっています。安全と共に安心を創り出してくださっているのです。

地域の皆様は、地震等の発災時を想定し、区役所と共に「宮谷小学校地域防災拠点管理運営委員会」を開催しています。地域の役員の方を中心に熱心に計画を立案し、総合防災訓練を実施し実際の発災に備えてくださっています。また、私たち宮谷小学校の教職員も全員は「震度5弱」の発災で宮谷小学校へ自動参集し、地域の皆様のサポートをさせていただきます。

何気ない平穏な日々が、どれだけ尊いかを思い知らされる日々が続きます。学校は、家庭と共に安全な場所ではなくてはなりません。学校と家庭・地域がこれからも連携を密にして、子どもと地域の皆様の安全・安心を創る宮谷小学校でありたいと思います。

今月もよろしくお願い申し上げます。

